

令和7年度第2回学校運営協議会 議事録

文責 小川

○日時：令和7年12月18日（木）14：30～16：00

○場所：三刀屋高校掛合分校 音楽室

○出席者：学校運営協議会委員 6名（※50音順による 敬称略）

安食 貴司（掛合分校PTA会長）、飯塚 真（掛合分校同窓会長）、石飛 登芳（社会福祉法人仁寿会サービス管理責任者）、小川 真里（掛合町文化協会事務局）、勝部 正哉（掛合総合センター所長）、根本 登三男（雲南市立掛合中学校長）

学校関係 2名

岡 秀樹（三刀屋高等学校長）、小川 剛（三刀屋高等学校掛合分校副校長）

○次第及び協議内容等（概要）

（1）今年度重点目標に対するこれまでの取組について

（2）重点目標に対する評価について

学校評価（1月実施）

（3）意見聴取

次年度の学校運営全般・教職員の人事要望について

（4）その他

○今年度重点目標に対するこれまでの取組について

（副校長より報告）

- ・ グランドデザインをもとに掲げた重点目標と具体策から、各校務分掌の目標を年度当初に設定した。
- ・ 特に、重点目標「3 自己表現のできる環境づくり」に対しては、各分掌がそれぞれの立場から目標を掲げ取り組んでいる。それに関しては、学校ホームページに主な行事・発行物ほか、活動の様子を掲載している。確認いただきたい。
- ・ その中でも、4校園で連携した取組や英検の級取得率全国一、学力育成事業トップセミナー、台湾研修旅行を取上げた。

○重点目標に対する評価について 学校評価（1月実施）

（副校長より提案）

- ・ 今月実施した職員会議以降の、学校評価のスケジュールを組んだ。1月には教職員・生徒・保護者のそれぞれを対象にアンケートを実施し、それらを取りまとめて校内で自己評価し、4校園連携「掛合の子どもを育てる会（掛合地区学校運営協議会）」で報告、第3回学校運営協議会で学校評価を提示し、学校関係者評価を受ける予定にしている。
- ・ 「重点目標に係る学校評価」は11項目（教職員・生徒・保護者の共通項目）とし、経年変化を見たい。その他、「教職員用自己評価」に32項目、「生徒用アンケート」に17項目、「保護者用アンケート」に13項目をそれぞれ加えたい。

- ・教職員・生徒・保護者のそれぞれに評価の項目数が多いが、今年度の回答結果をもとに次年度の目標設定をしたい。ゆくゆくは「目標に対する評価」の観点から各項目が対となるように設定したいが、教職員の個々が様々な役割を担う状況にあり、その統一には困難さが伴うが、一方で、各校務分掌等の細かな仕掛けに対する評価を得たいという考え方もある。

○意見聴取 次年度の学校運営全般・教職員の人事要望について

①学校運営

- ・掛合分校の体育館及びグラウンドについて背景と現状報告、今後について
- ・情報共有のみとし、学校運営協議会からの要望はなしとした。

②教職員の人事要望について

- ・掛合分校の教職員数の現状と課題について
- ・「主幹教諭加配または中山間地域の学校を対象とした教員、実習教員の加配」「特別支援コーディネーターの負担軽減のための非常勤講師の加配」について審議し、学校運営協議会からの要望として県教育委員会へ申出を提出する。

③その他

- ・寮炊事員5名体制の維持、及び後援会職員任用の見通しについてそれぞれ現状を報告し、課題感を共有した。
- ・教職員数に関して、吉賀高校は年を追うごとに生徒数が減少しており地元出身者の少子化に伴う減少と予想される。一方、それと同じ生徒数の掛合分校は広域から通い、様々な支援が必要な生徒が多い。先生方も一生懸命生徒を支えておられ、英検の表彰や地域探究活動等、特色ある取組をし、県内他にはない高校であり、不登校や教室に入りにくい事情を抱える中学生には必要な学校である。県教委も真剣に考えて、手厚く人員配置してもらいたい。強く要望し実現してほしい。
- ・自分たちの高校時代には探究学習など、地域へ出かける機会もなかった。新しい教育、幅広い学びへの対応は教員の負担を増やしている。人事要望する理由はたくさんある。地元の支援はもちろん、生徒にはそれら経験が自信となって社会へと巣立っていく。ニーズが高まっている顕れである。
- ・おんせんキャンパスの位置を市のもう少し中心部にし、活用していくことも検討いただきたい。早期からの良い取組だが、これを広げていってほしい。

○その他 意見交換等ででた主な意見等（概要）

- ・人事要望が前へ進まないとのことだが、要望はし続ける必要がある。他にも何か働きかけが必要であれば、協力したい。
- ・体育館がなければ不便ではないか？グラウンドは小学校と高校で管理することで変わらないか？グラウンド法面から雨水が排出される件の対応もお願いしたい。
- ・波多地区から1年生に依頼され、制作されたポスター（波多神社例大祭の画像掲載）をいただいた。探究学習がはやしこ奉納参加で終わったのではなく、今後も活動がなされていくことがたいへん頼もしい。
- ・文化祭2日目の生徒たちのはっちゃけた様子、笑顔が見られてよかった。先日授業も参観した

が、別な一面も見られて活躍ぶりがわかった。松笠交流センターのイベントでは、分校ブースで1年生がちびっこを集めて射的をやっていて、その裏では先生方がたこ焼きを焼いておられたが、そこに中学生が一人でもいたらよかったのと思った（そのとき中学生は全員で掛合太鼓を演奏していた）。分校生が週2日体育授業に来校するが、中学校では生徒・教員と全く関わりがない。そういう場面で、せっかくなら中高生が一緒に楽しめることがないかなあとずっと考えている。先日の中高合同交通マナーアップ教室で中高生が何か一緒にするわけではなく、ただ同じ場にいること自体がたいへん良かった。

- ・就職指導の際に、何か体験・活動させているか？ぜひ仁寿会にも来てもらいたい。
- ・今年はボランティアでインターハイの事前PRや当日補助員に参加した。休日にも様々な外部と触れ合う機会がある。大東高生・三刀屋高生も居て、他に広がり生まれて良い。
- ・台湾研修旅行は毎年雨に祟られるが、雨対策をしっかりと向かっていってもらいたい。
- ・市内他校とのつながりの機会が増えてきたように思われる。生徒たちは物怖じすることなく堂々とその中にいる。
- ・寮炊事員について、シルバー人材センターへ相談するのも一考である。事務的なことはセンターでされる。適任者の紹介があるかもしれない。